

9/16開催されました！ 斬新!? 実現可能? 「上新城地域の活性化策」発表会

秋田県立大学では、「あきた地域学アドバンスト」という講義の中で、毎年県内のさまざまな地域を対象にしたケーススタディが行われています。今年度の対象は上新城地域。「地域文化再生のための文化資源の演出を考える」というテーマのもと、9月9日から10日にかけて【道川・中・小又】の3地区でフィールドワークが実施されました。地域の課題や可能性を洗い出す作業を経て、学生さん（2年生46名）により練り上げられたアイデアをダイジェスト版でご紹介します！

道川

プラン① 道川町内会 地域づくり計画

道川入口に設けるゲートを起点に、空家を活用した施設やコテージを設け、大滝山や油田をキーワードとする回遊イメージを描きました。



プラン② つながる つなげる 道川

道川神社の整備と大滝山温泉の再開を軸に、大滝山自然公園キャンプ場まで含めたエリアをさまざまな交通手段でつなぎ、人が集う場を創出します。



秋田県立大学 重岡 徹教授（生物資源科学部 アグリビジネス学科）のご挨拶に続いて、1地区につき2グループがプレゼンを行いました。



住民からも、感想や質問などさまざまな反応が

中

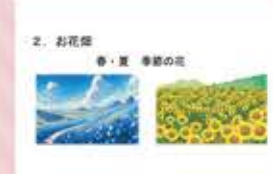
プラン① NAKA WARS

サバイバルゲームや雪合戦会場に使える「NAKAエアフィールド」を整備。耕作放棄地を「大規模改修が不要」＝魅力として発想転換した案です。



プラン② 劇場版・上新城

アクセスの良さと広大な土地を活用した「野外シネマ」のほか、花畑、イルミネーション、銭湯などを連動させた周遊ルートを提案。上新城が映画の街に？



小又

プラン① 小又再生project

地域の行事として継承されている、小又・白山のなまはげに会える体験民宿や、耕作放棄地を活用したフラワーガーデンを連動させた観光策です。



プラン② 小又の森

空家を「目的地」となるような商業施設（小又の森）に変え、中山間地域特有の体験ができるメニュー（藁編み、ジビエ料理、工芸品）を提供します。候補地は旧村長宅！



「市街化調整区域のため、なかなか…」という意見も

学生さんの着眼によるご提案、いかがでしょうか？地域の活気は、のびやかで自由な発想から生まれるのかもしれない。この発表内容は、11月9日(日)に開催される「第32回 産業まつり」会場(さとびあ)にて、展示される予定です。ぜひ全貌を直接見いらしてくださいね！